

## 人権教育に関する特色ある実践事例

### 基準の観点

学校が地域等と連携して研修に取り組む実践事例

### 1. 基本情報

#### ○都道府県名及び市町村名

滋賀県栗東市

#### ○学校名

葉山東小学校 葉山東幼稚園

#### ○学校のURL

<http://www.city.ritto.shiga.jp/soshiki/kyoiku/gakkokyoiku/syogakkou/hayamahigashi/hayamahigashisho.html>

### 2. 学校紹介

#### ○学級数

葉山東小学校【通常の学級】14学級、【特別支援学級】3学級、  
【合計】17学級  
葉山東幼稚園【通常の学級】12学級

#### ○児童生徒数

葉山東小学校【全児童数】430人（平成26年5月1日現在）  
（内訳：1年生84人、2年生70人、3年生67人、4年生65人、  
5年生74人、6年生70人）  
葉山東幼稚園【全幼児数】246人  
（内訳：0歳児3人、1歳児15人、2歳児13人、3歳児67人、4歳児67人、  
5歳児81人、）

#### ○人権教育開発推進事業、人権教育研究推進事業実績（実施年度及び事業の別）

平成23～25年度 人権教育総合推進地域事業

#### ○学校の教育目標、人権教育に関する目標など

##### 【推進事業の目標】

学校・園、家庭、地域の学び合いによる、自他の人権を大切にし、差別をなく  
そうとする子どもの育成

##### 【人権教育に関する学区の実践内容】

- ・地域に根ざした、一人一人の顔が見える人権・同和教育研修会を実施する。
- ・世代を超えて集い、人権・同和問題について、気づき、考え、行動できる学習の場をつくる。

#### ○人権教育に係る取組一口メモ

学校・園、家庭、地域が一緒になって活動することによって、人権教育に対する教職員や保護者、地域住民の理解を促進する。

## ○人権教育にかかる取組の全体概要

- |                    |               |
|--------------------|---------------|
| ○推進組織として学区運営委員会を設置 | ○家庭や地域との連携    |
| ○校種間の協力と連携         | ○関係諸機関との連携・協力 |

## 3. 特色ある実践事例の内容

### ○推進組織としての学区運営委員会の設置

- ・取組のねらい、目的
  - \*学区における課題を明らかにし、人権教育地域ネット協議会担当者、PTA、地域振興協議会、同和教育指導員を中心に学校・園におけるPTAの取組の充実や地域の研修会、学習参観など、社会教育と学校教育の連携を図ることのできる体制づくりを推進する。
- ・取組を始めたきっかけ
  - \*学区における障がい者などの人権に関する課題を解決するためには、学校・園だけの取組ではなく、家庭・地域・関係諸機関と連携しながら取り組むことが必要であると考えていた。そこで、人権教育総合推進地域事業の委託を受け、小学校区単位での地域に根ざした取組を推進していくこととなった。

### ○葉山東学区人権教育研修会の取組内容

#### <平成23年度>

テーマ：「笛とともに 心のぬくもりを伝えたい」

内 容：1部 人権〇×クイズ  
人権マジック  
2部 笛と語り  
講師 笛演奏家  
坂井 孝之さん

参加人数 166名

#### <平成24年度>

テーマ：「ともに生きる社会をめざして」

内 容：1部 講話「介助犬と暮らす」  
講師 介助犬総合教育センター職員と介助犬

### 全戸配布用案内チラシ

京都橘大学通信制  
奥村隼也さん

2部 手作りコンサート  
ハッピーコーラスさんと田中裕子先生による歌  
ハッピーコーラスさんと園児の歌  
葉山東幼稚園園児による歌  
歌と手話「子どもたちへ」(参加者全員)

参加人数 230名

笛 と 語り

＜人権集会＞

テーマ 笛とともに心のぬくもりを伝えたい!!

音楽コンサート 子ども大人も、ホッと時間を過ごしませんか!

2011年  
12月3日(土)  
10:00~11:30  
(受付 9:30~)

葉山東小学校体育館  
駐車場 葉山東小学校 葉山幼稚園  
梅ノ木公園(コミュニティセンター葉山東)

講師 笛演奏家  
坂井 孝之さん

共催 葉山東学区地域振興協議会  
葉山東学区老人クラブ連絡協議会  
葉山東学区長生会・役員会  
葉山東学区健康推進員連絡協議会  
葉山東福祉の会 葉山東児童保育所  
葉山中学校 葉山東小学校 葉山幼稚園  
葉山中学校区人権教育地域ネット協議会

お問合せ:コミュニティセンター葉山東  
電話653-2566  
葉山東小学校  
電話653-8300

<平成25年度>

テーマ：「ともに生きる社会をめざして」

内 容：1部 人権劇団  
「トゥモロー」  
による歌と劇  
2部 つながりコンサート  
ハッピーコーラス・  
葉山東幼稚園児に  
よる歌  
田中裕子先生による  
ラブコンサート  
「音楽家として母としてわたしが伝えたいこと」

参加人数 330名



つながりコンサート

<平成26年度>

テーマ：「ともに生きる社会をめざして」

内 容：1部 講演「働く仲間と共に～地域に根ざした作業所づくり～」  
講師 第二栗東なかよし作業所 田中和哉さん  
2部 人権啓発劇  
「わたしは幸子」(教職員と保護者・地域住民による)  
3部 つながりコンサート「みんなで歌いましょう！」  
赤坂合唱団による歌・ハッピーコーラスによる歌  
葉山東幼稚園園児による歌・学童保育所(ひよこクラブ)に  
よる手話と歌  
子どもたちへのメッセージソング「子どもたちへ」

参加者人数 310名

○取り組みの主体や実施体制

葉山中学校区人権教育地域ネット協議会葉山東学区運営委員会

葉山東小学校 葉山東小学校PTA 葉山東幼稚園  
葉山東幼稚園保護者会 葉山東学区地域振興協議会  
栗東市同和教育推進協議会葉山東学区代表  
コミュニティセンター葉山東 葉山中学校PTA

- ・年5回の運営委員会で、推進計画の立案、研修会の準備、参加者への働きかけなどの取り組みを進めた。

#### 4. 実施する際に生じた課題及びその解決策

- ・取組を実施する際に生じた課題  
この取組を実施する前から、学校にも、地域にも、すでにたくさんの研修機会

があり、新たな研修会は入れにくいし、予算的にも厳しい。どれだけ参加してもらえるかわからない等の意見があった。

・課題に対する解決方法

学校と地域がそれぞれで研修会を実施するより連携して取り組む方が効果があること、負担にならないような内容でよいこと、予算については市で対応する等、学校と地域の合同会議において取組の方向性についての共通理解を図った。

## 5. 実施事例の実績、実施による効果

(取り組みの実績)

- ・初年度は、葉山東学区運営委員会を中心に研修会の参加者を募ってきたが、年々、参加団体が増えてきている。本事業の指定終了後も継続実施しており、4年目を迎える今年度は、地域の合唱団、社会福祉施設の第二栗東なかよし作業所、葉山東学童保育所などと連携・協力しながら、学校・園・家庭・地域が一体となった研修会を開催することができた。また、参加人数も年ごとに増え、平成23年度には166名、平成24年度には230名、平成25年度には330名、平成26年度には310名の参加者を得ることができた。
- ・11月末の土曜日開催が定例化し、各種団体からの協力も得やすくなった。また、葉山東幼稚園園児や学童保育所の児童が発表することにより、若い保護者世代の参加も増えた。
- ・平成25年度には、人権劇団「トゥモロー」を立ち上げ、劇「わたしの妹」の発表を通して、身近な人権問題であるいじめについて考えることができた。  
＜参加者からの感想 平成25年度葉山東学区人権研修会より＞
  - \* 地域の方が子供たちをあたたかく見守ってくださっていることが伝わり、うれしかった。
  - \* 地域が一つになって人権について考えることができ、ほんとうによかった。
  - \* 世代を超えた参加者が一緒に研修に参加することにより、参加者の心に子供をあたたかく見守ってほしいとする意識が芽生えたように感じられた。
  - \* 研修に参加して、「自分のふるさとを大切にしたい。」という思いを共有することができ、同和問題への関心も高める機会となった。

## 6. 実践事例についての評価

これまでの取組を通して、学校・園・家庭・地域・各種団体との連携が深まるとともに、幼児・児童・教職員・保護者・地域住民・関係者の人権意識が高まり、地域における人権文化の礎を築くことができたと考える。

講演会だけの研修会を見直し、みんなが参加できる手作りコンサートを入れたことにより、研修会が身近なものに感じられるようになってきた。また、コンサートに加えて、人権啓発劇に取り組むことを通して、教職員をはじめ、参加者に人権問題が自分自身の問題だという意識を持たせることができた。毎年、研修会を開催しているので、教職員の参加意欲も高まり、人権問題は、全体で取り組まなければならない問題であるという意識が共有されつつある。

今後は、これまでの取組を発展させ、同和問題をはじめとする様々な人権問題をテーマにした研修会を開催していきたい。

## 【人権教育の指導方法等に関する調査研究会議によるコメント】

### 葉山東小学校、葉山東幼稚園

公立の小学校と幼稚園が連携し、地域に根ざして人権教育・同和教育を推進しようとしている。地域の人たちも含めて、一人ひとりの顔が見える人権・同和教育研修会を実施するとともに、世代を超えて集い、人権・同和問題について、気づき、考え、行動できる学習の場をつくろうと努めている。いわば、地域を挙げた参加型の活動による連携を進めたということである。研修も、講演を聴くだけでなく、参加を重視したスタイルを積極的に取り入れている。具体的には、みんなが参加できる手作りコンサートを取り入れたり、人権劇団「トゥモロー」を立ち上げ、劇「わたしの妹」を発表したりして、身近な人権問題について考えることができたという。これは、地域と学校の連携のあるべき姿だといえよう。何より、地域が一つになって人権について考えることができたという感想が、活動の意義を示している。